

常任委員会所管事務調査

所管事務調査とは、常任委員会が自主的にその所管事務を取り上げ、積極的に調査を行うことができる権限です。

総務委員会

シティセールス推進計画（案）

2月28日
報告1件

ブランド力の向上と効果的なPRのために、市民・団体・事業者・行政の役割や、推進体制など、共通の約束事を定めるもの

問 渥美半島が田原市であることを強調する必要があるのか。

答 認知度の高い渥美半島が、認知度の低い田原市と同じであることを全国的に知ってもらえれば、相乗効果が期待できる。

問 ふるさと納税との関係は。

答 特産物は、シティセールスにつながる重要な要素である。

問 交流人口など、受入れる側の住民の気持ちはどのように考えているか。

答 定住増加は必要であり、市民全員が一丸となり、将来に向けたシティセールスを進めたい。

問 事業期間が3カ年とあるが、事業の進捗状況の判断は。

答 市民意識調査などにより、認知度、住み良さなどの指標を測りたい。次の展開は、田原市の認知度が上がってきたら考えていく。

経済建設委員会

観光基本計画（案）

2月28日
報告4件

平成19年に策定した計画の中間見直し

問 観光などによる交流人口を、6年間で5%増加するという目標設定は、低くないか。

答 基準となった平成25年度は伊勢神宮式年遷宮の年で、例年よりも観光客数が伸びた年であった。その時よりも増加するように目標設定したが、検討する。

問 フタムラ化学跡地（三河田原駅前）の跡地活用について

問 民間の事業提案募集を見送ったが、今後の予定は。

答 具体的には決まっていない。土地の長い放置は街づくりにはふさわしくないため、早急に決めた。

問 急いで施設を建設しなくても当面、空き地としてはどうか。

答 まちなかを活性化する目的で土地を購入しており、市民会議、市民アンケートでの土地利用の要望を踏まえ、今後、検討していく。

その他、都市計画の変更及び田原市耐震改修促進計画（改訂版）について説明を受けた。

文教厚生委員会

2月18日
3月4日
報告7件

平成27年3月策定予定の計画案6件について、パブリックコメントの結果を踏まえた報告と、児童発達支援教室集約化の報告。（平成27年5月現在、策定されており、図書館などで閲覧できます。）

高齢者保健福祉計画（案）

問 田原ゆの里（福寿園）が完成したが、今後の施設整備の予定は。

答 今回の第6期計画では予定していない。必要であれば次期計画に反映する。

子ども・子育て支援事業計画（案）

問 夜勤にも対応する託児所の考えは。

答 休日保育のニーズには対応できる。夜間については、小規模託児所の認可等を検討していく。

新型インフルエンザ等対策行動計画（案）

問 渥美病院の位置づけは。

答 結核の指定医療機関。エボラ出血熱、ポリオ等は市外の病院となる。

健康都市プログラム（案）

問 健康課以外の部署との連携は。

答 庁内で推進会議を開催している。

その他、第2期障害者計画（案）、健康たはら21計画第2次計画（案）、児童発達支援体制整備の説明を受けた。